

2018年度 学校評価

カテゴリー	評価結果の概要
教育理念・目的・育成 人材像	「広く社会に貢献できる看護師の育成」を目指して「他者への思いやりと感性あふれる人間性を育む」教育を大切にしている。卒業時には教育理念にあげる「あらゆる事に関心を持つ」「主体的に考え、行動する」「判断できる」能力と「思いやりのある人間関係が築ける」ことが身に付くよう学生の状況を把握し、教員間の共有を行い、支援を強化する。
学 校 運 営	前年度から継続して「入学した学生を育てる」ために、「学習支援」と「主体的に考え、行動する力」の向上、「思いやりと感性あふれる人間性」を育むための取り組みを行う。准看護師支援の一つとして、看護師資格獲得には魅力は大きい。2年間で看護師資格取得に向けたニーズに答えるべく支援をしていく。
教 育 活 動	教育活動に対しては、目標に沿って実施されている。学習の成果と課題について教員間で意見交換し、個々の授業にフィードバックし教授力を高めることを目指す。学生が何を学ぶことが教育目的につながるのか、意識して授業にあたる。学習支援と単位習得に向けた支援を可能な限り行う。教員間で連携して支援にあたる。
学 修 成 果	希望者就職率 100%に向けて就職状況を確認し、必要時は支援する。就職活動に向けてのガイダンスを実施し適切な就職活動について支援する。 学修の成果として、毎年の課題である「卒後の実態を調査等で把握しているか」については今後検討していく。
学 生 支 援	学生の支援については評価が上がり、年々充実してきている。小グループ制で面接、指導、学習支援を充実させることは継続していく。学生の状況については共有し、支援を充実させる。 「全ての経済的支援制度の利用について情報提供しているか」については現在のところ全学生対象に「日本学生支援機構」「国の教育ローン（日本政策金融公庫）」、2年以上の就業者に対して「専門実践教育訓練給付金」を入学時に説明し申請している。
教 育 環 境	防災に対する組織体制を整備、備品の転倒防止など安全管理を法人の協力のもと校内の点検、転倒防止に対策を講じる。近年自然災害が生活を脅かす機会も多い。学生を守るべく環境については教員全体で取り組み、安心して学べる環境を作る意識を高められるよう取り組む。
学生の募集と受入れ	「学生の募集と受入れ」については学校訪問、オープンキャンパスなどを行い受験者は増加している。受験倍率 1.3 倍を維持しており、一定の効果を上げているといえる。広く本校の魅力を知ってもらい、選ばれる学校となるためにも入学した学生を大切に育て、学生自身の愛校心が育つ中で入学希望者が増えるという二次的な効果を高めていく。
法令等の遵守	「危機管理規定」にある「ハラスメントの防止」に努めように、周知し、働きやすく個々が力を発揮しやすい環境づくりに努める。学生に対するハラスメントの防止に努めるとともに看護専門職者としての教育を行うことを継続する。
社会貢献・地域貢献	学校施設利用については病院職員研修、地域包括支援センター講習会・会議、研究のための準備等、提供している。